

第4回 まちづくりアワード

【実績部門】 【計画・構想部門】

審査結果

令和7年5月

総 評

これまで経験したことない人口減少や高齢化を迎えるなか、持続的な都市・地域経営を実現していくため、まちづくりに携わる関係者が、各々の繋がりや創意工夫のもとに、人、モノ、歴史、自然、などのあらゆる資源を生かし、地域が抱える種々の課題解決、良好な環境の創造、価値の維持・向上を図る取り組みを続けていくことが期待されています。

令和7年度「まちづくりアワード」においては、全国から先導性や独自性に優れた取組の応募がありました。

厳正な審査の結果、2件の「国土交通大臣賞」を選定するとともに、今後の更なる発展を期待する取組について、審査委員会から3件の「特別賞」を選定いたしました。今回受賞された取組は総合的に優れており、全国のモデルとなるような取組として高く評価しました。

今回惜しくも選定に至らなかった取組を含め、次回もより多くの優れた取組が応募されることを期待しております。

《まちづくりアワード（実績部門、構想・計画部門）等審査委員会》

委員長 奥野 信宏 （公益財団法人 名古屋まちづくり公社
名古屋都市センター所長）

委 員 村山 顕人 （東京大学大学院 工学系研究科 教授）

委 員 横山 大輔 （慶應義塾大学 環境情報学部 准教授）

（敬称略、五十音順）

国土交通大臣賞

都市再生推進法人（一社）前橋デザインコミッション

◆所在地：群馬県前橋市

◆取組名称：馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクト
～公共空間民間整備による中心市街地空洞化対策～

◆活動概要：都市利便増進協定制度による公共空間の民間整備と住民自治的な日常管理を担っており、MINTO 機構による共助推進ファンドからの助成第1号案件、国内初のまちづくり PFS/SIB ※金融スキームの活用、高校生からシニアまで多様な市民が参加する担い手組織による管理運営など、官民連携による持続的な運営サイクルを確立し、通りの賑わいや魅力向上に貢献している。※事業の成果に連動して委託料が支払われる契約

◆選定理由：PFS/SIB 等の先導・先進的な取組の導入、事業の持続可能で自律的な運営の実現、整備に至るまでの地域住民の積極的な関与、活動による歩行者通行量の増加など、先導性、先進性・独自性、継続性、効果に優れた取組であると評価しました。



特別賞

合同会社つみき設計施工社

◆所在地：千葉県市川市

◆取組名称：市民参加型リノベーションのエリア集積による DIY まちづくり

◆活動概要：空き家等のリノベーションの機会を活用し、設計施工の一部で DIY ワークショップを開催。施主家族や地域住人等が、職人から技術を学びながら一緒に手を動かせる機会を提供することで、街に眠るストック空間の活用だけでなく、街への愛着の醸成、市民の DIY 技術の習得による共助コミュニティの形成といった効果を創出している。さらに、国内外の大学・研究機関等と連携してワークショップを行うなど、取組の普及にも注力している。

◆選定理由：2010 年から 15 年にわたって継続的に実践している取組であり、さらに、実践を通じて得られたノウハウを教育の場等にも活用して取組の普及に努めているなど、多様性、継続性、効果に優れた取組であると評価しました。



令和7年度 第4回まちづくりアワード【実績部門】

特別賞

(株)みんなのまちづくり (佐久市臼田地区活性化共同企業体代表法人)

◆所在地：東京都渋谷区

◆取組名称：ホシノマチ団地 ～長野県臼田地区生涯活躍のまち事業～

◆活動概要：移住者向け賃貸住宅「ホシノマチ団地」において、移住者が移住後も充実した活動を行えるよう、コワーキングスペースや移住者同士の交流の場等を提供。自らのスキルを活かした活動を通じて地域社会に貢献できる仕組みを整えることで、移住者の活躍が新たな移住希望者を喚起する好循環を創出し、地域社会の担い手不足、空き家問題といった地域課題の解決に貢献している。

◆選定理由：移住者に焦点を充てた新たな視点からの価値の創造やコミュニティの形成を図っており、移住者が地域の担い手となって好循環を生み出していることや、公的資金に頼らない運営を実現していることなどから、先進性・独自性、継続性、効果に優れた取組であると評価しました。



国土交通大臣賞

長崎居留地歴史まちづくり協議会・長崎市

- ◆所在地：長崎県長崎市
- ◆取組名称：長崎居留地歴まちグランドデザイン及びアクションプラン
- ◆活動概要：長崎市歴史的風致維持向上計画の東山手・南山手重点区域（長崎居留地エリア）に特化した歴史まちづくり計画を官民連携で策定。地域の想いが込められた将来像の実現に向けた解像度の高い取組とそれに基づく対応方針を設定している。これにより、地域住民の生活と歴史的地域資源を生かした観光を両立したまちづくりの実現に貢献している。
- ◆選定理由：自治体とまちづくり協議会が共同で、斜面住宅地等の問題と観光地という特性を踏まえた歴史まちづくり計画を策定し、その実現に向けた具体的な道筋を示しているなど、先導性、論理性、実現性、発展性・将来性に優れた取組であると評価しました。



特別賞

ひろさきウォーカブル推進会議

- ◆所在地：青森県弘前市
- ◆取組名称：HIROSAKI MACHI-PIC PROJECT 2024-2026
- ◆活動概要：市の財政自立度と都市経営課題を分析し、課題解決のための手法として本プロジェクトを実施。官民連携により、緑地や駅前広場、民地等のオープンスペースを活用し、「まちなか空間の楽しい使い方」を提案する社会実験イベント「ひろさきまちなかピクニック」を継続的に実施するなど、エリア一帯で居心地のいい空間づくりを創出しているほか、市民参画の場を設けることで、取組に共感する人材の発掘・育成も行っている。
- ◆選定理由：多様な主体が参画して策定されたエリアビジョン等と整合した活動、「まちなかの居心地の良さを測る指標」を活用した取組の評価・改善、「まちなかピクニック」といった参加者が主体的に楽しめる多様な取組など、論理性、総合性に優れた取り組みであると評価しました。

